

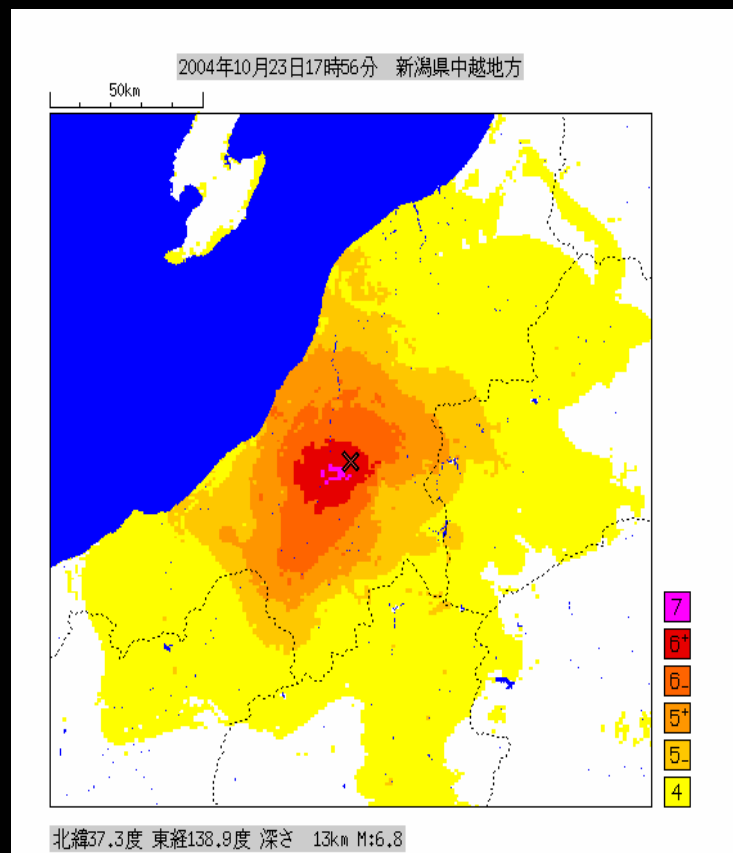
「新潟県中越大震災」教訓の伝承



新潟県危機管理監 大口弘人

新潟県中越地震

本震 10月23日(土) 17:56 M6.8

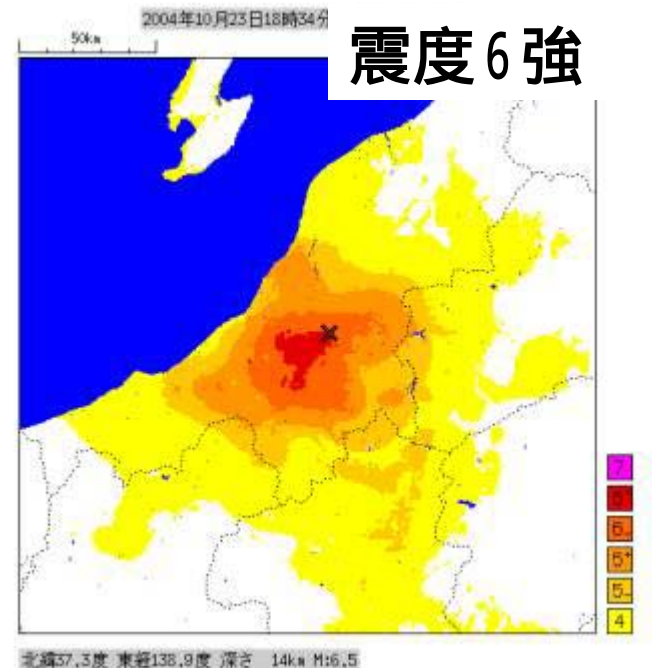
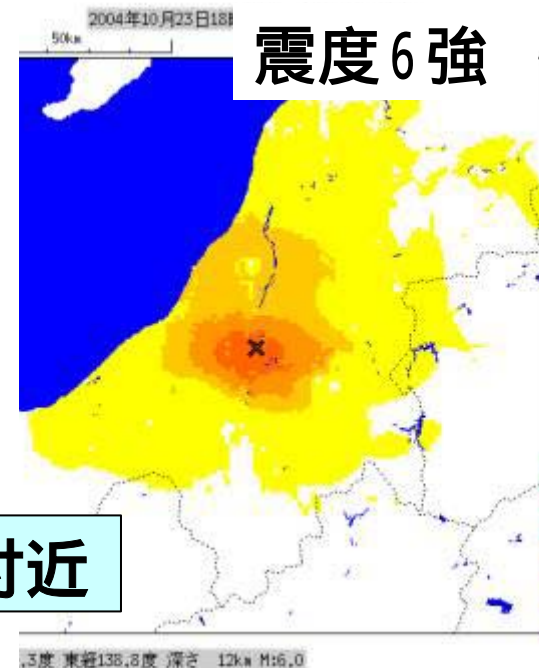
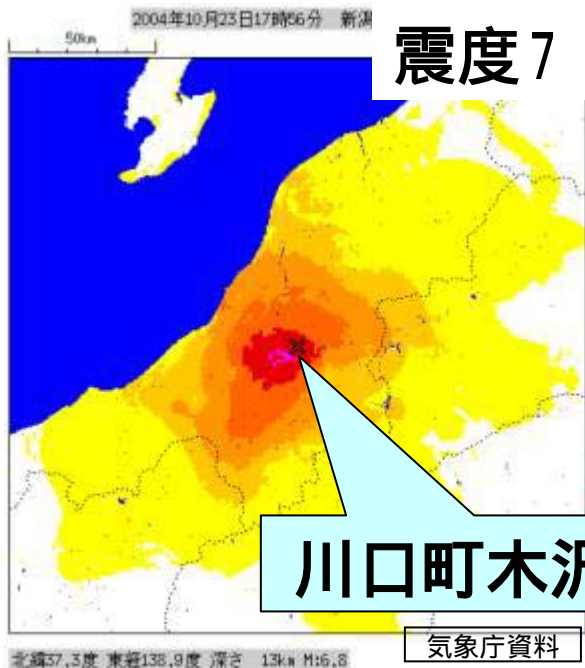


・中山間地域直下型巨大地震
(震源の深さ13Km)

(震度7) 川口町

(震度6強) 小千谷市など3市町村

(震度6弱) 長岡市など 12市町村



10.23 17:56

10.23 18:11

10.23 18:34

日	時	最大震度	マグニチュード
2004/10/23	17:56	7	6.8
//	17:59	5強	5.3
//	18:03	5強	6.3
//	18:07	5強	5.7
//	18:11	6強	6.0
//	18:34	6強	6.5
//	18:36	5弱	5.1
//	18:57	5強	5.3
//	19:36	5弱	5.3
//	19:45	6弱	5.7
//	19:48	5弱	4.4

本震の後、震度5弱以上の余震が2時間以内に10回発生しており、その内3回が震度6弱以上であった。

被害状況

- ・ 死傷者：死者51名、重軽傷者4,795名
- ・ 建物被害：住家120,410棟、
非住家40,383棟
- ・ ライフライン(ピーク時)
 - 電気：一般家庭停電戸数 約95,000戸
 - ガス：供給停止戸数 約56,000戸
 - 水道：断水戸数 約109,000戸

避難等の概要

- ・ 避難者数

36市町村 103,178人(10月26日)

- ・ 避難指示・勧告

23市町村 24,609世帯(延べ)

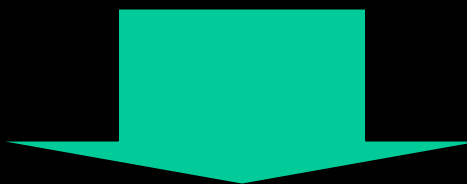
被害の特徴

地震の特徴

直下型、浅い震源、強烈な揺れ、夕方発生、余震継続 など

被災地の特性

中山間地、地すべり地帯、豪雪地帯、過疎、高齢化、農山村社会、高速交通路の集中



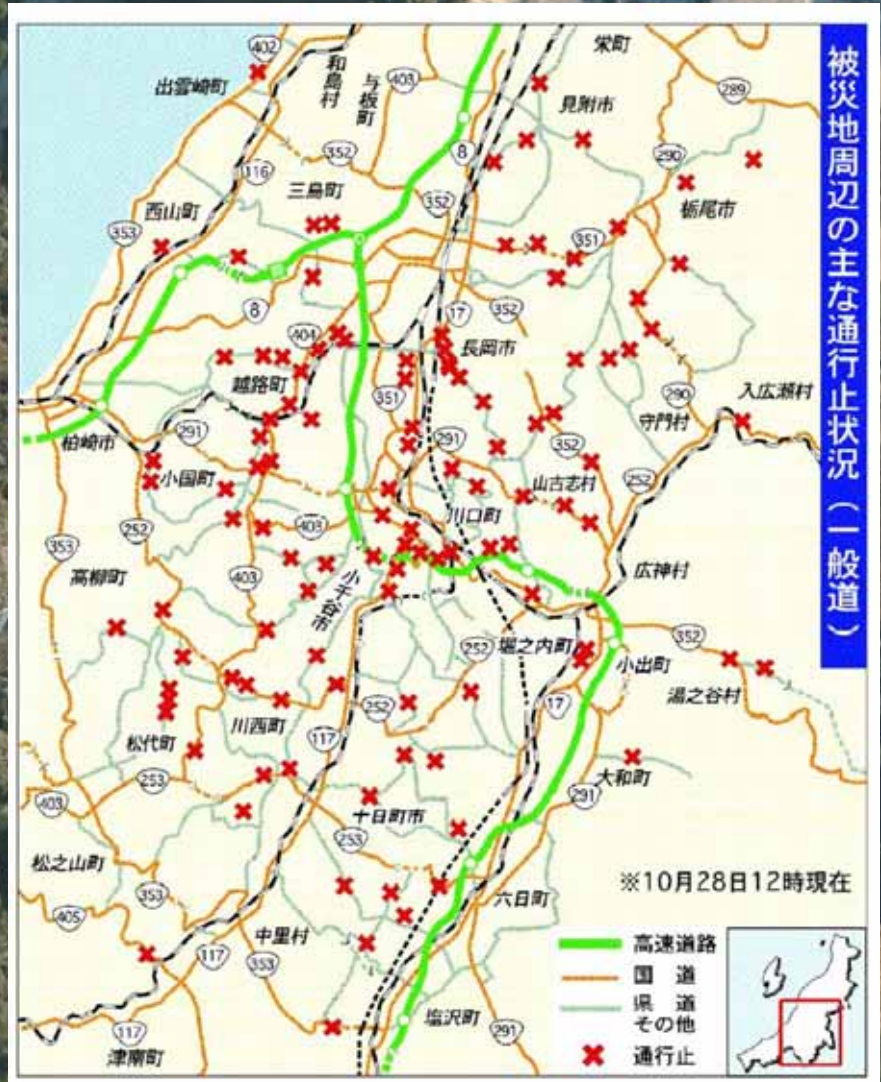
中山間地域に特徴的な被害様相

地盤災害の多発



敷地が建物もろとも崩壊

土砂災害で道路寸断



孤立集落多発（61地区）

ヘリによる脱出



山古志村全村避難

10万人の避難者

強い余震の継続 暗黒と倒壊の恐怖



屋内避難所の収容力を上回る避難者



車中・車庫・テント泊



農地、養鯉養殖等生産基盤喪失 による地域社会の存続危機



豪雪による被害の拡大

- ・ 積雪による被災建物の倒壊多発



- ・ 融雪に伴う地盤災害の拡大

高速交通の動脈遮断



全県的な影響

中山間地域の防災モデル構築

- ・集落孤立対策(物理的孤立・情報孤立)
- ・積雪期の避難者支援対策
- ・高齢者等要援護者対策
- ・地域内自主防災対策
- ・ライフライン等確保対策

災害に対する「自助」の文化の伝承

- ・災害を生き抜く力は、「自助」の努力が基本
- ・「自助」は決して個人だけの責務ではない
- ・自治体自らが不断の「自助」の努力を
- ・「自助」の文化を施策にビルトイン

市民による再生への取組

- ・山古志地域集落再生計画づくり
- ・中越復興市民会議

おわりに

全国のご支援ありがとうございます。

新潟県
中越大地震

元気だしていこー！新潟

